

結成20周年  
新たな大躍進  
に向け出発!

# 日刊動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合  
〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番  
(公) 043 (222) 7207 番  
99・6・25 No. 4982

## 夏季手当 JR貨物1.75箇月を回答

# 怒りを込めて超低額 回答を弾劾する!

昨日、JR貨物当局は夏季手当の支払いについて各組合に回答をおこなった。回答は一・七五箇月(七月五日支払い)という断じて許すことのできない超低額回答であった。動労総連合は怒りを込めてこの回答を弾劾し、再回答を求めた。職場ではやり場のない怒りが渦巻いている。昨年末と今夏季手当を見れば、JR東日本と比べれば、すでにその格差は年間で一・九箇月になつてゐる。貨物の仲間たちがおかれた現状は、二カ月近く賃金が支払われないのと同じ状態だ。組合員と家族の生活が深刻に脅かされている。

### 原因はなにか!

このような現状は一体何によつて生みだされたのか。その原因は二つある。ひとつはこの間われわれが繰り返し指摘してきたとおり、国鉄の分割・民営化を強行した必然的な結果としてもたらされたものだ。そしてもうひとつは、貨物当局の賃金抑制攻撃や大合理化攻撃の全てを唯々諾々と承認し、積極的に受け入れたつづけるJR貨物労・革マルが招いたものである。出口の見えないJR貨物の経営危機は分割・民営化政策が大失敗に終わったことを示している。しかも「経営再建」のためのフレイト21計画はその途中で頓挫し、新フレイト21計画もすでに破産が明らかになつてゐる。あたり前のことだ。「安楽死」させるためにつくられた枠組みをそのままにして経営の再建など

できるべくもないことだ。

### 貨物労を許すな

しかしわれわれが許せないのは、その責任は誰ひとりとしてとうとせす、一切の犠牲を現場で働く仲間たちだけに転嫁していることだ。その尖兵の役割を忠実に担つてゐるのがJR貨物労・革マルだ。貨物労の裏切りはまさに二重三重のものだ。こうなることを百も承知で分割・民営化の手先となつた裏切り、そして自らの保身のために超低賃金攻撃を現場の労働者に強制しつづける裏切り、本音のところで、東日本の結託体制を守ることを最優先課題として、そのために貨物の労働者を生け贄として差し出す裏切り……。数えあげたきりが無い。

### 闇雲な大合理化

しかも賃金抑制攻撃だけでは不十分だ。徹底した大合理化・外注化攻撃とそれに伴う強制出向・広域配転、労働強化が貨物の仲間たちにのしかかつてゐる。車両検修業務のあらかたがすでに外注化され、保全要員の実に四〇%を削減する大合理化攻撃が進められてゐる。また「競争力強化」と称して、フロント業務の大合理化攻撃が開始されている。近距離の輸送を運業者に売り渡し、トラック輸送に切りかえることを通してフロント三〇駅を廃止し、約八〇〇〇キロに及ぶ列車設定キロを削減するといふのだ。さらには、本

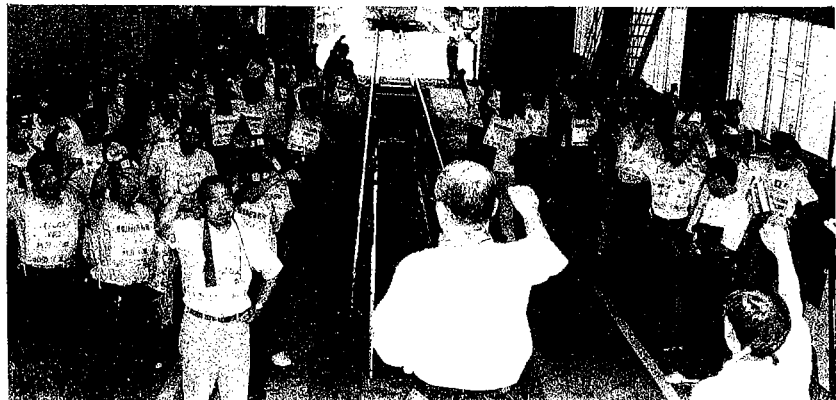
線運転業務まで各臨海鉄道に外注してしまおうという検討までがされている。これなどは逆に外注先の臨海鉄道が反対しているという状態だ。まさに「闇雲」としか表現できないものだ。しかもJR貨物は、一二年度の新規採用停止を決定している。一二年度ばかりではなく今後二年間は新採を停止するとも言われており、「大量退職時代」を迎えている現在の年令構成を考えたととき、新採停止攻撃が職場に及ぼす影響力は激甚なものとならざるを得ない。

### この裏切り!

一方、JR貨物労・革マルは「(ヘア、期末手当は)思い切つて我慢する」「合理化問題も踏み込んでもらつて構わない」「組合員には異動や労働条件の変更がないという意識は克服してもらおう」(貨物労・緒方)と公言してまさに全ての攻撃を受け入れ、積極的に推進しているのだ。しかもこのような全面容認の条件として、「国労解体をもつとやれ」と当局をけしかけてゐる。彼らは現場の組合員の切実な思いとは全く無関係に、一八〇度正反対の方向をむいてゐる。少なくとも「第一組合」がこれほどの裏切りをはたらかなければ、賃金も合理化もこんなやうたい放題の犠牲がのしかかることはなかったはずだ。われわれは、昨日の超低額回答を弾劾するとともに、貨物労・革マルを断じて許さない。貨物当局は速やかに再回答せよ!

## 怒りの 夏季手当 要求集会

6月21日、われわれは夏季手当要求動労千葉緊急総決起集会を千葉機関区で開催した。貨物当局は、各支部から結集した集会参加者は、回答日すら明らかにしないまま「年間臨給三・五箇月」などという無責任な発言を繰り返すJR貨物当局に対して断固とした抗議の声をあげたとくに、的場千葉機関区支部長、君塚新小岩支部長は、貨物に働く仲間たちがおかれた困難な状況を報告し、怒りも新たに立ちあがる決意を表明し、全体からの大きな拍手をつけた。



大失業と戦争の時代に通用する新しい世代の動労千葉を創りあげよう!